

日野市教育委員会 様

日野市立日野第一小学校
校長 小川 真由美
(公印省略)

令和7年度教育課程について（届）

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を基底として、自律的・協同的に行動し、未来をひらき持続可能な社会の担い手となる自覚と資質・能力を備えた心身ともに健康な人間の育成を目指すために次の目標を設定する。

- ◎かしこい子（すすんで学び、考え、あきらめずに取り組む子供「問題解決力」）
- やさしい子（自他の命を大切にし、よりよく生きようとする子供「人間関係形成力」）
- 元気な子（心も体も健康で、粘り強く行動する子供「実践力」）

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

第4次日野市学校教育基本構想の基本方針「みんなの多様な学びと多様なしあわせをつくる」を重点とし、「安心できる学校プロジェクト」を推進していく中で学校教育目標の実現を図る。

ア かしこい子

- ・問題解決力を育成するために児童にとって学習が「楽しい」、「分かる」、「できる」ことを目指し、学ぶ喜びのある授業づくりに取り組む。
- ・生活科及び総合的な学習の時間を中心とした教科横断的な学習を通して、汎用的な知識・能力を身に付けさせる。

イ やさしい子

- ・教育活動全体を通して自他の生命を尊重し、思いやる心情を育て、豊かな心の醸成を図る道徳教育を充実する。
- ・特別支援学級、特別支援教室における個に応じた指導・支援を一層充実させるとともに、通常の学級に在籍する配慮を要する児童への組織的な支援を充実する。

ウ 元気な子

- ・体育の授業をより充実させ、運動の楽しさと課題解決の喜びを実感できる学習の実現を図る。
- ・健康で安全な生活を送る力の育成を目指し、そのための課題を解決する手だてを考えたり実施したりする教育活動を充実する。

エ 学校の教育目標の達成に向けたその他の事項

- ・「第4次日野市学校教育基本構想」の「安心できる学校プロジェクト」について年間を通して取り組み、学校が児童にとっての安心安全な場所となるような教育活動を充実する。
- ・スタートカリキュラムによる幼稚園、保育園からの円滑な接続、中学校との連携教育を推進する。

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ・ 日常の学習状況を的確に把握することに努め、また、国語と算数において学力調査の結果等を踏まえて学習指導を工夫する。
- ・ 自分の考えや感想をもち、表現することができるようにするために、ペア・グループ・全体での相互交流場面を設定するなどして言語活動を充実させる。
- ・ 課題把握（つかむ）→自力解決（考える）→検討（考えを広げる）→評価（まとめ・ふりかえり）の学習過程を工夫し、基礎的・基本的な確かな学力の定着を図る。
- ・ 一人1台の学習端末等を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる。
- ・ 児童が「楽しい」「分かる」「できる」ために、UDLの視点から授業展開や環境整備等の授業改善に努める。また、算数科においては、第3～6学年で少人数習熟度別指導を行い、個に応じた指導の充実を図る。
- ・ 司書教諭、学校図書館司書と連携し、読書習慣や情報活用能力を育むために、本に親しむ環境づくりや、並行読書や調べ学習に取り組みやすい学習環境の整備に取り組む。

イ 道徳科

- ・ 「生命の尊さ」、「親切、思いやり」、「希望と勇気、努力と強い意志」を重点内容項目とする。
- ・ 道徳教育推進教師を中心に、価値理解、人間理解、他者理解を深める道徳科の授業を充実させ、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- ・ 学校、家庭、地域が連携して道徳教育を行うために、道徳授業地区公開講座を実施し、地域の方や保護者と意見交換を行う。

ウ 外国語活動・外国語

- ・ ALTや外国人等やデジタル教科書等 ICTを有効活用しながら言語文化の違いを理解し、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

エ 総合的な学習の時間

- ・ 自ら学習課題を設定し、探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決する力を養うために、ねらいを明確にし、「課題の設定」、「情報収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」の探究過程を繰り返す学習に取り組む。
- ・ 地域を学びのステージとして、地域の自然、文化、施設、人材などを活用した探究的活動を充実させる。

オ 特別活動

- ・ 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事を通して、よりよい人間関係を形成する力、社会に参画する力、自己実現を図る力を育てる。
- ・ 異学年・異学級交流活動や学校行事、児童会による取組などを通して、高学年のリーダーシップを育成するとともに、学年・学級が異なる児童同士で楽しく触れ合ったり協力して取り組んだりして、豊かな人間関係を育成する。
- ・ キャリア・パスポートを活用して、児童が自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげることができるようにする。

(2) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・「五つの約束」や「ひのいちスタンダード」を活用して、全教職員が共通理解のもと、同じスタンスで指導にあたり、保護者の理解と協力を得ながら規範意識や節度ある生活態度や自己指導能力の育成に取り組む。
- ・様々な状況を想定した避難訓練や朝の安全指導、SOS の出し方に関する教育やセーフティ教室等の安全教育の実施を通して、児童が自ら危険を予測・回避し、SOS を出せる力を身に付けられるようにする。
- ・全教職員で「学校いじめ防止基本方針」に基づき一貫した指導を行うために、いじめ防止研修を実施し、内容の周知徹底と共通理解を図る。学校生活アンケートを年間5回実施し、実態を把握するとともに、学校いじめ対策委員会を中心に、児童一人一人に寄り添いながら、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に当たる。
- ・不登校の早期発見・早期対応のため、出席状況調査や家庭訪問等に基づいて児童の実態や変容を把握し、組織的・計画的に児童の支援に当たる。不登校状態の児童に対しては、ふらっとルームの活用やSCとの面談等により組織的に対応する。
- ・生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解させ命を大切にすることや、自分や相手、一人一人を大切にすることを発達段階に応じて身に付ける生命（いのち）の安全教育に取り組む。

イ 進路指導

- ・社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けられるようキャリア教育の全体計画に基づき現在や将来に夢や希望を抱き、その実現を目指して人生を創造する力を育む。
- ・児童が自己の進路について、主体的に考え進学に対し希望がもてるよう近隣の中学校と連携を図る。

(3) 特色ある教育活動

- ・「第4次日野市学校教育基本構想」の「安心できる学校プロジェクト」に取り組み、学校・学年行事や学級活動の充実と一人一人が活躍できる場について工夫していく。
- ・GIGA スクール構想による ICT 機器の効果的な活用を通して、情報活用能力を育成するとともに、コンピュータやインターネットを適切に活用し、社会の一員として責任ある行動をとれるようにするために ICT の時間を朝の活動として設定し自分で行動するスキルを身に付けられるようにする。
- ・「オリンピック・パラリンピック教育」で培われたオリンピック精神に基づき、「学校 2020 レガシー」としてスポーツを愛好する心情とともに、日本の伝統・文化の理解や障害者理解教育の充実を図っていく。
- ・「第6次日野市特別支援教育推進計画」に則り、特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援教育の指導体制を充実させ、個別の指導計画に基づく指導を進める。また、多様な個性についての相互理解を深め、共に生きる力を育てるために、特別支援学級との共同・交流学习、特別支援学校と連携した副籍交流を実施する。
- ・保育園や幼稚園での学びと育ちを生かし入学後の小学校生活の充実を図るためにスタートカリキュラムを実施し、合科的・関連的な指導を工夫する。また、第1学年児童の自己肯定感を高め、就学を目前にした園児に小学校生活への期待を育むために、直接的な交流活動を実施する。
- ・豊かなスポーツライフの土台となる力を育ため、すべての児童が運動の楽しさを実感できるよう、全校児童による体育的活動を取り入れる。また、がん教育をはじめ健康安全な生活に関する指導の充実を図る。
- ・平和講演会を実施し、広島・長崎・東京大空襲を体験者から受け継いだ伝承者の講話を通し、子供たちに戦争の悲惨さ、命の大切さ、そして、平和の尊さを考える機会を設けるとともに、子供たちの平和意識の醸成を図る。